

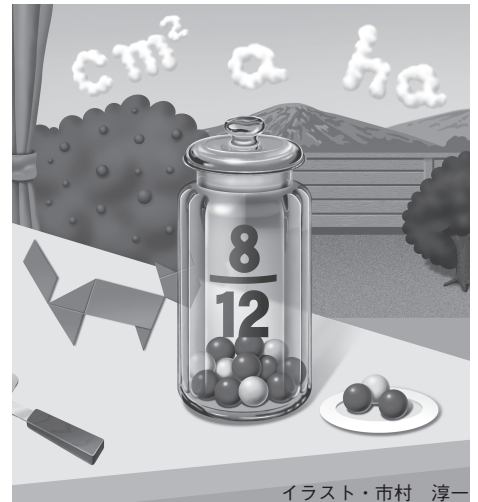
4年算数

「アイテム」を始めよう！

分野別となったこのテキストは、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生が作成しました。

基礎・基本の問題をはじめ、手ごたえのある難しい問題までたくさんのっています。『なるほど!』、『わかったぞ!』と思わせてくれる、「考える」ことが『楽しい!』と実感できるような問題にきっと出会うことができるでしょう。

さあ、「アイテム」の世界へ出発です！



イラスト・市村 淳一

Item
の
しくみ



「アイテム」算数 4年監修
せいやまたか お
盛山隆雄先生

「アイテム」算数を活用される先生方へ

「アイテム」算数は、算数学習に必要な要素が盛り込まれています。学校での学習状況や、児童の習熟度合いによって活用のしかたを様々な工夫することで、児童の思考力向上が期待できます。①、②(あるいは③)は全児童の必修ページ、④(あるいは⑤)はチャレンジ領域として、有効にご活用ください。

1単元、4ステップの構成です。ページが進むにつれ問題もステップアップしていきます。

各小単元

- ①「解説」(テーマ)+練習しよう…この単元で学習することの解説と、その基本問題がのっています。
- ②「たしかなものにしよう」(習得)…練習しようの問題を少しふくらませた問題で構成しています。
- ③「見方、考え方を広げよう」(活用)…①、②で学習したことを活用して解いていく問題をのせています。
- ④「チャレンジしよう」(探究)…応用力を身につけるようになっています。③までできたら挑戦しよう！

やさしい

(教科書のレベル)

難しい

とても難しい

(チャレンジ問題)

1. 「計算ドリル」…各小単元では、ページの下に計算練習ができるコーナーを設けています。うしろには成績シートがついています。
2. 「ホームワーク(宿題)マーク」…宿題をマーク(📖)で示してあります。学校での進め方によっては、授業などでおこなうこともあります。
3. 関連記号…小単元によっては、「解説」を2つにわけています。2つの解説と「たしかなものにしよう」のページの問題とのつながりがわかりやすいように、ペン(🖋️)とノート(📖)をそれぞれ置いています。

トピックス

解き方をくふうしたり、それをいろいろな方法で表現していきます。

- 「授業でわかる!」…実際の授業をもとにしたコーナーです。
- 「スペシャルアイテム」…ちょっぴり遊びの感覚で算数に挑戦するコーナーです。

テスト

「アイテム」には、3つのテストがあります。

- 「チェックしよう」…小単元の基本問題中心の確認テストです。
- 「4年のまとめ」…総合問題です。2pで100点満点のテストです。
- 「活用問題」…学習したことを活用して解く問題です。

Item のもくじ



各單元には、基本的に4つのステップがあります。最初の2つのステップが終わってから、次の2つのステップにチャレンジしてみよう！

*学習日は、各ページでも記入できるようになっています。ここでは学習予定日として使うこともできます。

A数と計算

大きな数

① 大きな数 P.6~9

学習日
月 日

整数のわり算

② 1けたでわるわり算 P.10~13

学習日
月 日

③ 2けたでわるわり算(1) P.14~17

月 日

④ 2けたでわるわり算(2) P.18~21

月 日

授業でわかる! ①

わり算のきまり

P.22~23

学習日 月 日



およその数

⑤ およその数 P.24~27

学習日
月 日

⑥ がい算 P.28~29

月 日

授業でわかる! ②

大きな数を
計算でもとめよう

P.38~39

学習日 月 日



式と計算

⑦ 式と計算 P.30~33

学習日
月 日

⑧ 計算のきまり P.34~37

月 日

スペシャルアイテム①

4つの4 P.40~41

学習日 月 日



小数のたし算とひき算

⑨ 小数のたし算とひき算(1) P.42~43 月 日

学習日

⑩ 小数のたし算とひき算(2) P.44~45 月 日

小数のかけ算とわり算

⑪ 小数のかけ算 P.46~47

学習日
月 日

⑫ 小数のわり算 P.48~49

月 日

授業でわかる! ③ 夏坂哲志

分数の大きさくらべ P.58~59 学習日 月 日

分数のたし算とひき算

⑬ 分数のしくみ P.50~51

学習日
月 日

⑭ 分数の大きさくらべ P.52~53

月 日

⑮ 分数のたし算とひき算 P.54~57

月 日

チェックしよう (A数と計算編)

① 《単元1~4》 P.60

学習日 月 日

③ 《単元9~12》 P.62

学習日 月 日

② 《単元5~8》 P.61

学習日 月 日

④ 《単元13~15》 P.63

学習日 月 日



B 図形

角

①⑥ 角 P.64~67

学習日
月 日

四角形

①⑦ 垂直と平行 P.68~71

学習日
月 日

①⑧ いろいろな四角形 P.72~75

月 日

直方体と立方体

①⑨ 直方体と立方体 P.76~79

学習日
月 日

①⑩ 立体の表し方 P.80~83

面積

①⑪ 長方形と正方形の面積 P.84~87

学習日
月 日

①⑫ 大きな面積 P.88~91

月 日

授業でわかる！④

何人分が何こな？

P.92~93 学習日 月 日



あおやましゅうじ
青山尚司

スペシャルアイテム②

正方形の面積

P.94~95 学習日 月 日



せいやまたかお
盛山隆雄

チェックしよう (B図形編)

① 《単元16~18》 P.96

③ 《単元21》 P.98

学習日 月 日

学習日 月 日

② 《単元19~20》 P.97

④ 《単元22》 P.99

学習日 月 日

学習日 月 日

授業でわかる！⑤ 盛山隆雄

くふうして面積をもとめよう

P.100~101

学習日
月 日

C 変化と関係

かわり方

①⑬ かわり方 P.102~105

学習日
月 日

割合の考え方

①⑭ 割合の考え方

P.106~108

学習日 月 日



もりもとたかし
森本隆史

チェックしよう (C変化と関係編)

① 《単元23~24》 P.109

学習日 月 日

授業でわかる！⑥ 青山尚司

わり算で考えよう

P.110~111

学習日
月 日

D データの活用

データの整理

①⑮ 折れ線グラフ P.112~115

学習日
月 日

①⑯ 整理のしかた P.116~119

月 日

チェックしよう (Dデータの活用編)

① 《単元25》 P.120

② 《単元26》 P.121

学習日 月 日

学習日 月 日

4年のまとめ(1) P.122~123 学習日 月 日

4年のまとめ(2) P.124~125 学習日 月 日

活用問題(1) P.126~127 学習日 月 日

活用問題(2) P.128~129 学習日 月 日

計算ドリル
成績シート
P.132

計算ドリルノートの作り方

じっさいの⑭はちがう問題です。

1cm 方眼のノートを
使うと書きやすいです。

計算ドリルの
番号とアイテ
ムのページを
書きましょう。

問題をといた日を
書きましょう。

○と✓は番号の上
にのこりに書きま
しょう。

正しい
正解した数を
書きましょう。

計算に筆算を用
いたときは、式
の下に書くよう
にしましょう。
筆算は1ますに
1つの数字を書
くようにし、位
をそろえるよう
にしましょう。

式と答えを
書きましょう。

つぎ
次の問題は、
1行あけて
書くように
しましょう。

筆算の横のぼう
は、じょうぎを
使ってのこりに
かきましょう。

1ますに2けた
や3けた、「あ
まり」を書いて、
ノートをうまく
使いましょう。

まちがえた所の上
に赤ペンで正しく
書きなおしましょう。

※まちがいは消しゴムで
消さないようにしましょうね！

9問
12問

⑭ p17 8月28日

<p>① $792 \div 6 = 132$</p> $\begin{array}{r} 132 \\ 6 \overline{) 792} \\ \underline{6} \\ 19 \\ \underline{18} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$	<p>② $455 \div 7 = 65$</p> $\begin{array}{r} 65 \\ 7 \overline{) 455} \\ \underline{42} \\ 35 \\ \underline{35} \\ 0 \end{array}$
<p>③ $748 \div 3 = 249$ 残り 1</p> $\begin{array}{r} 249 \\ 3 \overline{) 748} \\ \underline{6} \\ 14 \\ \underline{12} \\ 28 \\ \underline{27} \\ 1 \end{array}$	<p>④ $314 \div 4 = 76$</p> $\begin{array}{r} 76 \\ 4 \overline{) 314} \\ \underline{28} \\ 32 \\ \underline{32} \\ 4 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$



1ページにおさまらないときは、
次のページに書きつづけていきましょう。

<先生方へ>

このつくり方は指導の一例です。児童のノートや先生方の学習方針によって、工夫して指導くださいますようお願い申し上げます。

□を求める計算

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad & \square + 14 = 36 \\ & \square = 36 - 14 \\ & \square = 22 \end{aligned}$$

□の求め方がわかるようにして、□=として書きましょう。

<ふうした計算

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad & 97 \times 5 \times 2 \\ & = 97 \times 10 \\ & = 970 \end{aligned}$$

計算の流れや、<ふうしているようすがわかるように式は=でつづけて下に書くようにしましょう。

小数の計算

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad & 6.8 \div 8 = 0.85 \\ & \begin{array}{r} 0.85 \\ 8 \overline{)6.8} \\ \underline{64} \\ 40 \\ \underline{40} \\ 0 \end{array} \end{aligned}$$

6.8 や 0.85 のように、ますの中に小数点を書いて、ノートを広く使いましょう。

筆算では、小数点はますの線の上に書きます。



分数の大小

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad & 2 \frac{1}{4} < 7 \frac{7}{4} \\ & 2 \frac{1}{4} = 9 \frac{9}{4} \\ & 2 \frac{1}{4} > 7 \frac{7}{4} \end{aligned}$$

分母や分子は、それぞれ1ますに書きます。

考え方を書いてから、答えを書くようにします。

分数の計算

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad & 1 \frac{1}{8} - \frac{2}{8} \\ & = \frac{9}{8} - \frac{2}{8} \\ & = \frac{7}{8} \end{aligned}$$

仮分数にかえたときは、式をかならず書こう。